

# 陶山まちづくりだより



第 27 号

令和 5 年 3 月 発行

陶山地区みんなが輝くまちづくり協議会  
情報広報部会

TEL/fax 66-0010

E-mail [suyama01@mx1.kev.ne.jp](mailto:suyama01@mx1.kev.ne.jp)



## シリーズ 陶山の いいところ巡り

笠岡市の北西部に位置する陶山地区には自然がいっぱいあります。  
四季折々の自然がかもし出す“陶山の顔”を写真で紹介します。  
第4回は入田地区。

## 山陽自動車道に沈む夕日

撮影場所 / 入田(池橋より)  
撮 影 / 村上博昭氏

## 部会活動報告

### 有害鳥獣対策部会

- 令和4年4月から現在までに陶山地区全体でイノシシを125頭、アナグマ6頭を捕獲しました。笠岡市全体では1360頭捕獲していますがまだまだ出没の通報が多く寄せられている状況です。  
(捕獲数の内訳:地域活動=552頭、猟友会=762頭、市職員=46頭)
- 田畑に出没し耕運機で耕した様に掘りかえしている所が見受けられます。農作物の被害を防ぐには、防護柵の設置が望まれます。  
(写真は有田地区)
- 先般因島でイノシシに襲われて4人がケガをされました。因島では毎年400頭以上の捕獲を8年間ほど継続しているようですが噛まれたのは初めてとのこと。太ももを噛まれてドクターヘリで病院に運ばれた女性は「目が合ったら突然走ってきて牙で突かれた」とのこと。



掘り返された畑

**捕獲したイノシシは** **イノシシの大きさ、捕獲時期等により処置方法が異なります。**  
**どうしているの**  
**でしょうか?**



押撫で大型捕獲

- ① 備後ジビエ社に買取って頂き、食肉として販売されています。(今年度は25頭販売しました)  
良質の食肉が得られない幼獣、脂肪分が少ない夏場のイノシシは原則として対象外となります。
- ② 里庄のゴミ焼却場に持ち込み焼却処理しています。(今年度は93頭を焼却しました。)
- ③ 畑、山林等に埋却しています。サイズが1メートルを超えると焼却装置に入らないためです。(3頭処置)
- ④ 地元で解体して食肉として活用しています。(今年度は4頭を解体しました。)解体できる人が少ないために活用が進んでないことが課題です。

### 交通問題研究部会

交通問題研究部会ではこの一年間、地域の公共交通問題の対応策の検討や高齢者マークの配布などの活動を行ってきました。公共交通問題の対応策として、笠岡市に乗り合いタクシー事業の導入の要望書を提出し市と連携をとりながら進めてきました。これまでの経過を「陶山地域公共交通問題の検討報告」として陶山まちづくりだより第27号に挿入していますのでご意見をお寄せください。

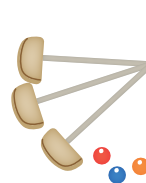


### 健康部会

篠坂ふれあい広場でグラウンド・ゴルフをしています。  
楽しくプレーをして、気分爽快、体力増進に努めましょう。

練習日

毎週月・木・土曜日  
9時～10時30分



用具がなくても  
大丈夫、  
来てみて。

## 観光開発部会

神の峰山頂でご来光を見て、年神様へその年の豊作や家族の健康と幸せを祈りました。参加者(約40人)に甘酒の接待をしました。



初日の出を待ちわびる人々



## 環境美化推進部会

令和5年1月17日(火)9時45分~11時まで花畑にパンジー・ビオラ・ハボタンの植え付けをときわ学園と有田友悠クラブで行いました。植え付けの後は、通学路のごみ拾いを行いました。



## 物産販売部会

物産販売部会では「すまふれあい青空市」を毎月第2日曜日8時30分から押撫の「わかば」の前で開いています。

地区内で採れた野菜や地元産品を使った惣菜、ビレッジ興産のハムや花、果物などを販売しています。

3月は12日、4月は8日に開催予定です。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。販売希望も大歓迎です。お声を掛けてください。

今後の開催予定

3/12・4/8



## 掲示板

有田地区



ゆうと  
三好悠登ちゃん(男の子)  
令和4年6月生まれ

こんにちは  
赤ちゃん

Hello Baby!

篠坂地区



たくと  
天野奏音ちゃん(男の子)  
令和4年7月生まれ

陶山まちづくり協議会事務所の 開所のお知らせ

月・水・木(午前9時~12時)

お気軽にお立ち寄りください



## 小中一貫教育 Q&A

### Q なぜ小中一貫教育が必要なのですか？

A 近年の教育内容に対応した学力向上、発達の早期化、小学校高学年からの不登校・長期欠席の増加、「中1ギャップ」への対応の必要性から、9年間の「学び」と「育ち」をつないで、子どもの発達段階に即した指導が出来る小中一貫した教育が求められています。

### Q 行事はどうなるのですか？

A 小学校6年間と中学校3年間の枠組みは変わらず、入学式や卒業式もこれまでどおり行います。また、それぞれの中学校区で協議し、合同で行う行事も計画されていきます。

### Q 学年段階の指導区分を「4-3-2」にするのはなぜですか？

A 子どもたちの発達の早期化や中1ギャップに対応するため、前期（小1～小4）・中期（小5～中1）・後期（中2～中3）に区分し、中期を充実させます。中期では、小・中学校両方の教職員が関わり、指導・支援にあたります。

### Q 学習内容は変わるのですか？

A 基本的に小中一貫教育を開始することによる学習内容の変更はありません。これまでどおり、学習指導要領の内容に基づいた教育活動を行います。

### Q 小学校と中学校の校舎の距離が離れている中学校区は、どのように小中一貫教育を進めるのですか？

A 小・中学校の先生が授業の進め方を一緒に研究したり、情報交換を通して子どもの理解を深めたり、小学生同士や小中学生が交流する機会を増やしたりと、各中学校区で工夫しながら様々な取組を行っていきます。

### Q これまでの地域文化や歴史を生かした学習はどうなるのですか？

A 小中一貫教育では地域の範囲が広がるので、子どもたちは多様な文化や歴史に触れるようになり、「地域学」として、系統的・継続的に9年間で学習活動を進めていきます。

## 金浦中学校ブロック施設一体型小中一貫教育校の進捗状況 **その2**

令和5年1月26日 陶山小学校で5,6年生に金浦中学校乗り入れ授業が行われました。(外国語科)

